

| | | |
|---|--|--|
| 人文科学総合 I (Human Science I) | | 4 年・半期・2 学修単位 (α)・必修 (前期) 機械・電子制御工学科 (後期) 情報・物質化学工学科 担当 木村 倫幸・鍵本 有理 |
| 〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 (1) | 〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 A-1 (70%), C-1 (30%) | 〔JABEE 基準〕 (a), (f) |
| 〔講義の目的〕 (木村分) 社会科学的に現代社会を考察していく視点を養うために、これを的確に表現・伝達できる論理的な思考力を育成する。 (鍵本分) さまざまなメディアが発達した現在こそ、基本である「言葉による表現」を見直す必要がある。日本語による表現能力(書く力)を養成し、表記についての知識を身につける。 | | |
| 〔講義の概要〕 (木村分) 論理的に考えるとはどういうことか、という点より出発して、論理的思考の基本的な概念・さまざまな方法・発展応用段階を考察する。 (鍵本分) さまざまな種類の文章を実際書きながら、文章についての基本的な知識を身につける。また文書の形式を学びながら、よりわかりやすい表現について考える。 | | |
| 〔履修上の留意点〕 (木村分) 論理的思考は形式であるが、その内容に含まれる現代社会のさまざまな課題も取り上げる。 (鍵本分) 日頃自分たちが目にする文章の表記や形式・表現方法について、問題意識を持つておく。なお、クラスによって講義の前半と後半の順序が入れ替わるので注意すること。 | | |
| 〔到達目標〕 (木村分) 論理的思考についての基本的な概念・方法を理解する。日常生活や社会の具体的な課題について論理的に考察していく能力を身に付ける。 (鍵本分) 表現(書くこと)について、基本的な知識と技法を身につける。公的な文書の形式を理解し、また、わかりやすい表現について考え、工夫することができる。 | | |
| 〔自己学習〕 目標達成のために、常に社会についての積極的な問題意識と、日常の生活に密着した文章等の表記や形式・表現方法への関心を持つよう努めること。 自学自習のためのプリント課題を課すので、必ず提出のこと。 | | |
| 〔評価方法〕 (木村分) 確認テスト(80%), レポート・課題等(20%) (鍵本分) 定期試験の得点(60%)、レポート・課題(40%)。 ただし学年成績は、担当者 2 名の総合平均とする。 | | |
| 〔教科書〕 プリント教材を使用する。 〔補助教材・参考書〕 参考図書については、講義の中で随時紹介する。 鍵本担当分については、国語辞典を一冊準備しておくといよい(講義中に説明する)。 『知的な科学・技術文章の書き方』中島利勝・塚本真也、コロナ社 | | |
| 〔関連科目・学習指針〕 本科 3 年生までの国語、歴史、政治経済等の知識と関連付けて進めていく。 | | |

講義項目・内容

| 週数 | 講義項目 | 講義内容 | 自己評価* |
|------|---------------------------|--|-------|
| 第1週 | はじめに：哲学と科学と論理 | 学問としての哲学・科学の成立と論理的思考の関係を概説する | |
| 第2週 | 論理的思考法の基礎（1） | 演繹法，帰納法，アブダクションなどの方法を理解する。 | |
| 第3週 | 論理的思考法の基礎（2） | 必要条件と十分条件，命題・逆・裏・対偶などの論理の仕組みを理解する。 | |
| 第4週 | 前提と結論とのつながり | 論理における命題の間違ったつながりや隠れた前提について理解する。 | |
| 第5週 | パラドックス、アンチノミー、詭弁 | パラドックス、アンチノミー、詭弁の構造について理解する。 | |
| 第6週 | 論理的思考と倫理的態度 | 論理的推論と倫理的態度との関係について考察し、具体的な問題の解決を試みる。 | |
| 第7週 | 統計と信じやすさの心理 | 統計についてその基本的な概念を理解する。また信じやすさの心理を論理的に考察する。 | |
| 第8週 | 特別講義 | これまでの講義内容を踏まえて、適宜設定する。 | |
| | | (↑木村担当分・↓鍵本担当分で前後入れ替え) | |
| 第9週 | ガイダンス よい文章とは グラフの利用 | 講義の進め方等のガイダンス。「よい文章」の定義、グラフの効果的な作図について考える。 (課題) 敬語プリント | |
| 第10週 | 文章を書く基礎知識 | 誤字に対する注意力を養う。校正記号の基本を身につける。原稿用紙の使い方について確認する。 (課題) グラフの利用②、漢字プリント | |
| 第11週 | 客観的表現・描写 | 客観的表現について理解する。 (課題) 原稿用紙の使い方 [実践]、表記に関するプリント | |
| 第12週 | 表記の問題（1） 構想メモの作成 | 仮名遣いや送り仮名、外来語の表記に関する問題意識を持つ。 (課題) 「ブレーン・ストーミング」を利用した構想メモ作成 | |
| 第13週 | 表記の問題（2） 手紙の書き方 | 常用漢字に関する問題意識を持つ。 手紙の形式に関する基本的知識を身につける。 (課題) 企業・大学宛ての添え状 | |
| 第14週 | 説明の仕方 悪文について（1） | 物事を順序立てて説明する方法と、注意点を考える。 さまざまな文書について、わかりやすい表現を工夫する。 (課題) 手紙の様式に関するプリント | |
| 第15週 | 悪文について（2） まとめ | 「悪文」について考え、問題意識を養う。 まとめとして、再び「よい文章」について考える。 (課題) ファイリング [これまでのプリントを整理する] | |
| 期末試験 | | | |

* 4：完全に理解した，3：ほぼ理解した，2：やや理解できた，1：ほとんど理解できなかった，0：まったく理解できなかった。
(達成) (達成) (達成) (達成) (達成)